

特定非営利活動法人

明るいシステム倶楽部 会報6月号

令和4年6月1日

(2022年)

去る5月11日、約半年ぶりに「明るいセミナー」の開催に漕ぎつけることができました。これも、ひとえに会員の皆様他によるご支援の賜物と改めて感謝申し上げます。

今回ご登場いただいた(株)八百鮮の市原敬久社長には、49社目のAKS0041認証企業として終始忌憚のない話を頂戴しましたが、来場者の反応もすこぶる良かったようでした。

そこで、当日ご参加できなかった会員の皆様にも、是非その一端だけでもご報告できればと思い、次頁のコラム欄でご紹介することにいたしました。

さて、先月も触れましたが、コロナ禍だけでなく、ロシアによるウクライナ侵攻に端を発した戦禍に加え、東欧諸国を中心に政情不安が蔓延しています。更に、国際的なエネルギーや食糧の価格高騰等が、世界の政治・経済に大きな不安定要因をもたらしています。

難しい課題ですが、今こそ人々の心に元気を与えてくれるものが必要でしょう。

話は少し飛びますが、今月は当倶楽部も通常総会を月半ばに控え、今年度の事業計画及び予算計画等を確定させる時期を迎えました。当倶楽部の正会員の方々には、是非ご参加いただきたく、この場をお借りしてよろしくお願い申し上げます。

なお、本会報は今回から当倶楽部の賛助会員企業様にもお送りしたいと思います。

今後の活動もコロナ禍の落ち着き具合が若干懸念されますが、よりウィズコロナを前提とした形のものにできればと考えています。当倶楽部はNPO法人という制約がありますが、中小企業等の活性化を中心課題としつつ、より社会に役立つ活動ができるように、今後も工夫を重ねたいと思います。

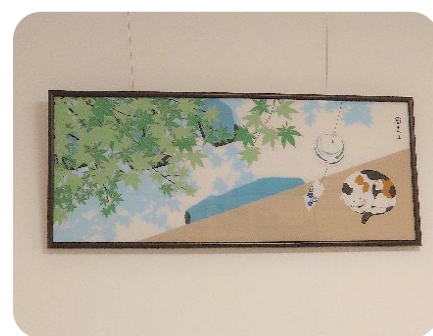
どうぞ皆様のご支援やご協力の程、お願い申し上げます。

< 6月の送付物 >

- ① 日本一明るい経済新聞 6月号
- ② 年会費ご納入のお願い(該当者のみ)

< 6月の活動予定 >

6/4(土) 気楽なZOOMサロン(19)	当倶楽部会員専用の交流の場です。	20:00~21:30
6/8(水) 臨時役員会議(24)	「令和4年度の活動計画」	13:30~14:40
6/8(水) 明るいシステム検討会議(7)	「AKS認証企業への活動状況」	15:00~16:10
6/21(火) 「明るいシステム倶楽部2022年度通常総会」		14:00~16:00
AKS市民大学 (ZOOM形式)		
6/8(水) 菊池教室(17)	「感性を育む和学講座」	20:00~21:30
6/22(水) 柴原・松居教室(10)	「みんなで考える明るい職場」	20:00~21:30
6/25(土) 宮崎教室	「愛と善意のことばにもNGワードが!!」	20:00~21:30



「青もみじの季節」

—— 八百屋は商売の原点です。 ——

高村 和義

これは、(株)八百鮮・市原敬久社長の話された言葉です。

「仕入れて売る。」 単純な原理でありながら、商売とは何か、素人目にも分かる言葉ですね。生産者と消費者を、青果物（今では、魚、肉も）を通じて結びつける、正に「マッチング」です。

以下、今回の社長対談の中で、特に印象が強かった点等を中心にご紹介いたします。

・ほぼ素人ながら28歳で自ら起業

現在38歳という、社長として年齢は非常に若いですが、竹原編集長のインタビューに対しても、その話しぶりは全く気負いがなく分かり易く、かつ強い信念を感じさせるものでした。

< 具体的な内容について >

① 企業ビジョン等・・・超 明るく元気なビジョンですね。

「八百屋を、日本一かつこよく。」「日本に、鮮度を。」「感動ある人生を共に生きる。」
売り上げも大事ですが、それ以上に企業ビジョン等を最優先され、それを実際の社長の行動、社員一人一人の行動に強く反映させており、その分かり易いフレーズは非常に好感が持てました。

② 従業員を大切に（従業員第一）・・・明るいリーダーシップを感じます。

「顧客満足」(CS) はよく聞きますが、「従業員満足」(ES) を実践できる企業はまだ少ない中、このことに徹底していて、従業員の元気が顧客までも元気にしてしまう、明るい対応に繋がるといふことでしょう。

③ 「鮮度」よし・・・積極的に従業員に仕事を任せることが「従業員の鮮度」も高める。

「鮮度」と言えば、生鮮食料品には不可欠ですが、例えば、その日に入荷した品物はその日の内に売り尽くすことを実践しており、このことが翌日の店頭で並ぶ商品の鮮度を徹底して保つことに繋がっています。これも顧客にアピールする絶好の売り方だと感心しました。

これら一連の業務を従業員にできる限り権限委譲させた結果でもありましょう。



④ アナログとデジタルの使い分け

対面販売が中心の業種なので、日頃から従業員と顧客との信頼関係を高める一方で、社長を含め、従業員同士でも社内コミュニケーションとして社内SNSを駆使し、これを各支店の日常の情報共有にも活用するなど、大切な従業員間の気持ちの共有までも深めているようでした。

⑤ 社会貢献・・・三つの側面を持っているように思います。

- ・一つ目は、文字通り、生産者と消費者を最良の形（良い品物をより安く）でつなぎ、双方の利益の最大化に努力し続けることで、雇用を創出し社会に役立つ健全な企業として発展している。
- ・二つ目は、シャッター街が多い商店街に対して、果敢に進出（10年間で6店舗）することで、商店街及び地域の活性化に大いに役立っており、新たな商店街からのオファーも呼んでいる。
- ・三つ目は、上述の「日本の鮮度」を意識した経営を実践し、「八百屋」という地位を大きく向上させようとチャレンジする姿が非常に新鮮に映る。

いずれにせよ、(株)八百鮮は、高い理想を掲げながらも具体的な目標や指針等に落とし込む一方、社長は「企業は人なり」を重視し、非常に緻密な経営を実践されていると思いました。

また、社長が従業員を大切にする一方で、従業員もこれに応え、任された役割を主体的に日々実践することに繋がっていると思いました。今回、(株)八百鮮からは多くの気づきを頂戴しました。